

正解が一つではない問題にどう立ち向かうか

北進ゼミナール

教科のテストの多くには模範解答が存在する。つまり、テストで出題される問題には唯一最善の答があるということだ。その一方で、実際の社会では「正解」が一つではない問題が数多く存在する。どの立場から解決策を探るのかということによって「正解」は変わるのである。昨年頃から福井県沿岸に姿を見せるようになった野生のイルカを巡る問題を例に挙げてみたい。

7月17日の中日新聞 web 記事によると「16日早朝、福井県美浜町にある水晶浜海水浴場で泳いでいた60代の男性に近づいてきたイルカがぶつかって、男性は肋骨を折るなど重傷を負った。他にも3人が手を噛まれるなどして軽いけがをした」とのことである。専門家によるとこの個体はイルカの中では比較的小型のミナミバンドウイルカではないかとのことだ。

イルカには頭がよくて人に優しいというイメージがある。だから「イルカはかわいい」と思う人も多いだろう。実際、資料Ⅰにあるように「動物園・水族館で一番好きないきものは？」というアンケート結果ではイルカが堂々の1位となっている。しかし、個体単位で見えていくと、人懐っこすぎて人が当惑するようなじゃれ合い方をしてくるものや、逆に人に対して攻撃的な行動を取るものもいるようだ。前述の事故はまさにそんな個体が生み出したものであろう。資料Ⅱはイルカと、国内又は近海に生息していて人に危害を及ぼす可能性がある生き物からいくつかを抜粋し、それぞれの体格や特徴をまとめたものである。これを見ると「イルカはかわいい」だけでは済まないことが分かる。

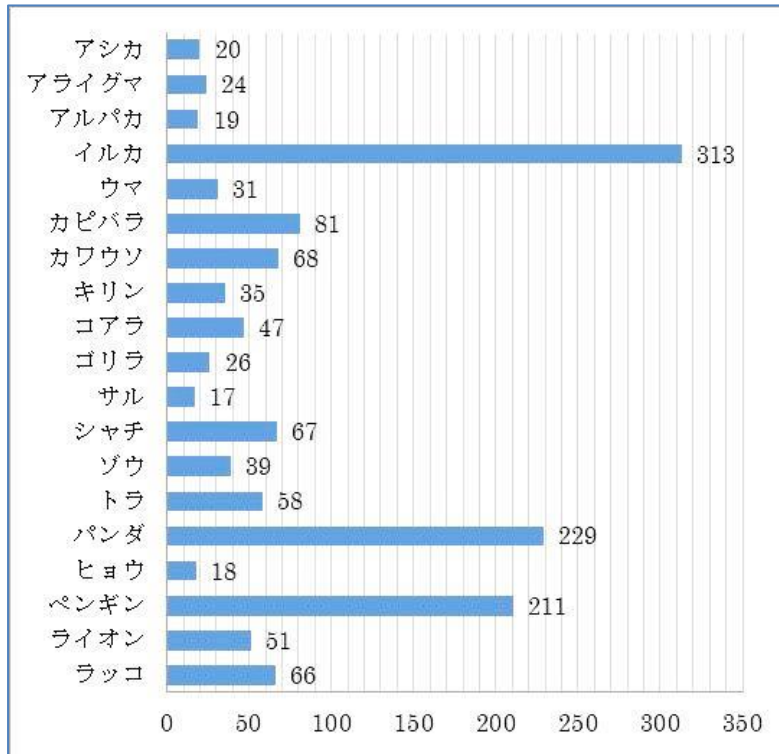
7月16日の事故を受けて「人気の海水浴場 イルカの被害相次ぎ21日から閉鎖へ 福井の水晶浜」(7/19 中日新聞)となったが、数日後には「イルカ被害の水晶浜 閉鎖から一転営業継続へ 福井・美浜パトロール強化」(7/22 同社)と軌道修正された。海水浴場の運営母体は安全のために閉鎖を検討していたのだが、浜茶屋(海の家)の経営者から「投資もしているので営業を続けて欲しい」という要望があり、また、海水浴場でなくなると監視員もつかなくなり、勝手に泳ぐ人たちをかえって危険にさらしてしまう恐れもあったので、安全対策を強化した上で海水浴場の運営を継続することにしたとのことだ。

ところで、過去に同様の事案に対して全く異なる判断を下した海水浴場もある。三重県尾鷲市にある三木浦マリンパークという海水浴場である。2020年頃から付近に野生のイルカが住み着き、ダイビングをしている人々とじゃれ合うような行動を取り始めたので、海水浴場を完全に閉鎖し遊泳禁止の措置を3年間取ってきたとのことだ。なお、この措置は今年になってイルカの姿が見えなくなったということでようやく解除されている。

このように福井の海水浴場と三重の海水浴場では対応が分かれた。安全と経済の両立か、安全と自然の両立かという考え方の違いがそれぞれの答(解決策)の違いにつながった。同じ状況であったとしても何を優先し、どこに価値を置くのかということによって答は変わってくるという好例ではないだろうか。様々な立場の人がいる社会では自分の視点だけで解決策を考えると分断と対立を生じてしまいがちだ。自分とは異なる立場の人を思いやり、様々な角度から考えて、より多くの人々が納得する答を探し求めていかねばなるまい。また、出した答が唯一の正解とは限らないという謙虚な受け止めも必要であろう。そして、そのような考え方や姿勢を持つことこそが社会で生き抜く原動力となっていくと考える。

以上

□資料Ⅰ 「動物園・水族館で一番好きないきものは？」(回答総数 1682 人)



注：ウォーカープラス(2022年4月18日号)の読者アンケート掲載数値を抜粋して作成(数字は人数)。「回答数1%未満のいきもの」・「その他」・「好きないきものはない」を省略した。

□資料Ⅱ イルカと、人に危害を及ぼす可能性のある生き物の体格・特徴

<p>ミナミバンドウイルカ</p> <p>体長 200~300cm、体重 150~300kg。時速 30 km以上で泳げる。上下顎骨に鋭い歯を持ち、魚・イカ・甲殻類などを捕食する。</p> <p>2022 年夏、福井県沿岸だけで 20 件の人的被害があった。</p>	<p>イノシシ</p> <p>体長 100~170 cm、体重 80~190kg。時速 50 km程度で走れる。雑食性で臆病だが興奮すると背中 of 毛を立てて人にも突進してくる。</p> <p>国内では 2022 年に 64 件の人的被害(1 名死亡)があった。</p>
<p>アカシュモクザメ</p> <p>平均体長 250~300cm、体重 30~120kg。魚・イカ・エイを捕食する。別名は「ハンマーヘッドシャーク」。人には近づいてこないとされるが、</p> <p>1982 年熊本県天草地方で発生した死亡事故の犯人とも…。</p>	<p>ニホンツキノワグマ</p> <p>体長 100~150 cm、体重 60~150kg。時速 40 km以上で走れる。臆病だが、人と遭遇したら鋭い爪を武器にして襲ってくることもある。</p> <p>国内では 2022 年に 158 件の人的被害(2 名死亡)があった。</p>
<p>ホホジロザメ</p> <p>平均体長 400~500cm、体重 600~1100kg。最高時速 25 km以上。魚の他、イルカやアシカなどを捕食。</p> <p>1990 年代に国内で死亡事故が 2 件発生している。映画「ジョーズ」のモデルとなったことで有名。</p>	<p>エゾヒグマ</p> <p>体長 150~250 cm、体重 150~400kg。国内最大・最強の陸上生物。66 頭もの乳牛を襲った OSO18 という個体は 7 月末に駆除された。</p> <p>国内での人的被害は年間数件だが、死亡事故の割合が高い。</p>

注：インターネット上のニュース・動物図鑑・サメの図鑑・wikipedia・省庁発表等に掲載されている情報を参考に作成した。

正解が一つではない問題にどう立ち向かうか

今回は福井県沿岸に出没しているイルカと、地域の方々が行った対処法を題材にして、解決策が一つとは限らない問題にどう立ち向かえばいいのかを考えてもらうことにしました。当事者の方々は漁業法や水産資源保護法という制約(イルカの捕獲を規制)の中で知恵を絞って対応しています。次元の違いはあっても私たちの生活の中でも正解が一つではない問題はあると考えます。課題文や資料Ⅰ・資料Ⅱに目を通した上で、以下の条件に従って常体語(「～だ」「～である」調)で作文を書いてください。

なお、課題作文は以下の手順に従って3日に分けて取り組んでください。また、**(3)**でテンプレートが示されていますが、それにこだわる必要はありません。(1)(2)の条件を守れば自由に書いて構いません。

(1)指定作文用紙に 800 字以内で書くこと。タイトルは不要です。

(2)以下の順番で目安時間(3日間合計 2.5 時間程度)を意識して進めてください。

- ①【**初日 20 分程度**】課題文に目を通し、イルカによる人的被害についての感想を 50～100 字程度で下書きしてください(いきなり原稿用紙に書き始めないようにしましょう)。
- ②【**初日 20 分程度**】資料Ⅰのグラフから「一番好きないきものはイルカである」と回答した人の割合を百分率で表した 30～50 字程度の一文で下書きしてください。なお、分母は回答者総数(1682 人)とし、小数点以下を切り捨てて答えてください。また、資料Ⅱを見て感じたことや読み取れたことを 100～150 字程度で下書きしてください(同上)。
- ③【**初日 20 分程度**】福井の海水浴場と三重の海水浴場で異なる対応が採られたことについて自分が思ったことや考えたことを 200～250 字程度で下書きしてください(同上)。
- ④【**二日目 30 分程度**】自分自身の今までの経験を振り返って「正解は一つではなかった」と思われるできごとに触れて、今後より良い選択ができるようにするために必要なことを 200～300 字程度で下書きしてみてください(同上)。
- ⑤【**二日目 30 分程度**】①～④をつなげて音読しながら、誤字脱字の訂正、句読点・助詞・接続詞の点検及び修正などを行って 800 字に収まるようにして下書きで書いてください。
- ⑥【**三日目 30 分程度**】⑤で完成したものを最終確認しながら指定原稿用紙に清書してください。

(3)書き方がよく分からないという生徒は以下のテンプレートを参考にして書いてください。

- ① 福井県の海水浴場に現れたイルカによって人的被害が出ていることを知って～と思った。なぜなら～だからだ。(50～100 語程度)
- ② 資料Ⅰによると約〇%の人が「一番好きないきもの」としてイルカを挙げている。その一方で資料Ⅱを見ると～ということに気づいた。～と比べると～であり、「イルカはかわいい」だけでは済まないと感じた。(130～200 字程度)
- ③ 福井の海水浴場と三重の海水浴場で対応が分かれたことについては～と考える。なぜなら～だからだ。もし自分が当事者であった場合には～を強く意識して考えたい。(200～250 字程度)
- ④ 私にも正解がいくつもあつたと感じる体験がある。〇年生の頃の～というできごとだ。その時には～したが、今になって思えば～するべきだったと思う。今後より良い選択をするために～を念頭に置いて行動していきたい。(200～300 字程度)

以上